

令和5年度 印西市民アカデミーだより 第7号

講座 7：市民活動について学ぶ①

8月4日(金)、市民活動推進課の職員を講師に招いて「市民活動」について学びました。印西市民アカデミーでは、卒業後、アカデミーで学んだことや体験したことを活かして、市民活動やボランティア活動等に積極的に関わり印西市の発展に寄与するという大きな目標があります。最近では、第21期生が中心となって市民活動団体「寺子屋&子ども食堂 さくら」を立ち上げ活躍中です。今回は、①市民活動/NPO とは？ ②印西市の取り組み ③ワークショップ「公共サービスは誰が担うべき？～市民と自治体の役割分担について考えよう～」の三部構成で学びました。

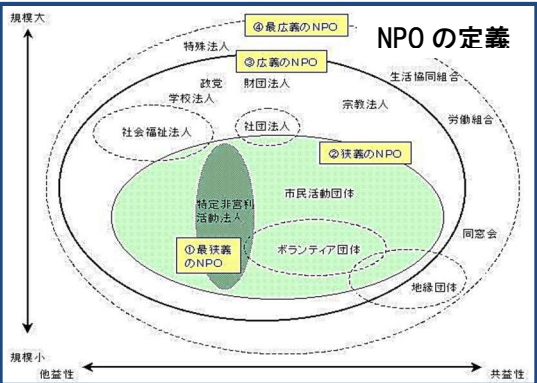
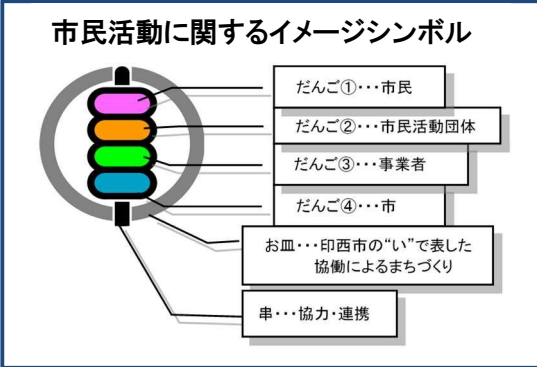
①市民活動とは、市民が互いに協力し、地域社会のさまざまな課題に向かって、主体的・自主的に取り組む、営利を目的としない、開かれた活動。(ただし、宗教、政治、選挙活動を除く)

NPOとは、市民が主体となって継続的、自発的に社会貢献活動を行う、営利を目的としない民間団体。(法人格の有無は問わない)
近年、市民ニーズの多様化による新しい地方分権社会の創造、複雑化する地域課題に対応するためNPOとの協働による行政サービスの提供が推進されるようになりました。

②印西市の取り組みとしては、「印西市市民活動支援センター」設置(H13.6)→「印西市市民活動推進条例」施行(H16.6)→「企画提案型協働事業」実施(H17)→「公益信託印西市まちづくりファンド」設置(H19.1)。市民が安心して市民活動・地域活動ができるように「市民活動保険(市民活動総合保障制度)」を用意している。

③3つのグループに分かれて、ワークシート「公共サービスは誰が担うべき？～市民と自治体の役割分担について考えよう～」に取り組みました。8項目の事例をA自治体、B自治体と市民協働、C市民(団体)の3つに分類していく作業をしました。様々な考えや意見があり集約するのに一苦労しましたが、いい勉強になりました。

日頃、「NPO」「市民活動」、「ボランティア活動」という言葉はよく聞くのですが、実際、どのような活動をしているか活動資金はどうしているのかなどの具体的なことはよく分かっておらず、今回の講座で、そのモヤモヤが解消しました。次のチャレンジに進めそうです。



どちらにしようか迷ったら講師にヒントをもらい…